芸術大三年生

旭川市医師会
道北勤医協ながやま医院　橋爪裕子（はしづめひろこ）

昨年、ある通信制の芸術大学芸術学科芸術学コースの三年生になった。私は仏像や絵画は好きだが、まったく絵を描けない。観るだけである。いろいろな展示会に行っても「あ〜いいな」程度で終わってしまっていた。もっと深く作品について知りたいと思い、芸術大学の三年次編入を申し込んだのだ。

大学生とはもっとゆとりがあると思っていたが、どうしてどうして大変きついのである。週末の土曜日と日曜日はZoomによるスクーリングがあり、講義が終了するとレポートがある。スクーリングがなくても、動画を見て勉強しレポートを出す科目がある。他にもテキストで自ら勉強してレポートを出し、かつ単位習得試験を受けなければならない科目がある。さらに卒業はもう今年であるので、卒業論文の準備のための講義やゼミがある。いやはやなんときついことだろう。あえぎあえぎ坂を登っている様な感じである。Zoomでのスクーリング以外に対面での講義を選択することも出来て、一度は対面で先生方にお会いしたいと思っていたが、昨年は行くことができなかった。今年こそ一度は大学のキャンパスで学び、学生食堂でランチを食べたいと思っている。

いいことが一つあった。実際に展覧会に行ってじっくりと作品を観てからレポートを書くという科目があった。そこで東京上野の国立博物館で開催されていた「特別展運慶　祈りの空間―興福寺北円堂」を見に行った。一般前売り券1,500円であったが大学生700円で入場できた。もちろん学生証を見せて確認しての入場である。大変な混みようであったが、何周もしてじっくり観察してきた。

国宝　無著菩薩立像（右）と世親菩薩立像
運慶作　鎌倉時代（1212年頃）

今年はもう卒業の年である。なんとか20,000字、原稿用紙50枚分の卒業論文を書き上げたいものだ。

うまくいかないから面白い

札幌市医師会
札幌市保健所　前木孝洋（まえきたかひろ）

令和６年４月から札幌市保健所でお世話になっております。ランニングは全くしていなかったのですが、札幌市職員職場対抗駅伝大会に昨年度（令和６年度）、今年度（令和７年度）と参加して考えたことがありましたので、お伝えしたいと思います。

札幌市職員職場対抗駅伝大会は、年１回、７月中旬に開催されるもので、１チーム10人で１人が２kmを走ります。昨年度、札幌市保健所に着任し、駅伝大会のことを紹介され、保健所の同僚からは、「勝ちを目指すのではなく、皆で楽しく走ることが目的のチームなので、気軽にご参加ください」とお声がけいただき、２kmくらいなら普段走っていなくても走れるだろうと思い、参加してみました。

自分の普段の状態での基礎体力がどの程度か興味があったので、昨年度は全く練習しない状態で大会に臨みました。結果、記録は９分37秒でした。

今年度も保健所チームに誘っていただけましたので、駅伝大会に参加することにしました。そして、今年度は大会に参加することを決めてからランニングを始めました。

駅伝大会当日となり、今年度は練習したので、タイムは昨年度よりだいぶ早くなっているだろうと期待して臨みました。結果は９分32秒で、昨年度から５秒しか早くなっていませんでした……。

昨年度から年をとっているので、それほど悪くない結果なのかもしれませんが、「それなりに練習したのに５秒しか早くならなかったのか」とがっかりしたというのが正直な感想でした。練習したのに期待したほどは良いタイムが出なかったことについては、昨年度は何も準備していなかった状態で全力を出し切った記憶があるのに対して、今年度は考えすぎて、体力を使い切らない状態で走り終えたという印象があります。

練習したのにタイムをそれほど短縮できなかったことが悔しかったので、今年度の大会が終わった後は、来年度の大会に向けて方法を工夫して練習を続けることにしました。

今年度は、「思っていたほどはうまくいかなかった」というのが正直な感想なのですが、結果として、「次はどのように工夫すれば早く走れるようになるか」ということを考える機会になって、面白いと感じています。ですので、「うまくいかなかったからこそ、面白い」と感じることが新たに見つかってよかったと考えています。

これからも、状況に応じて、新しいことに挑戦していきたいと思います。